

学会録事

1. 2016年度日本藻類学会第2回持ち回り評議員会

第2回持ち回り評議員会(2016年6月15日～6月29日)を開催し、日本藻類学会編「藻類の事典(仮称)」の出版計画についての意見・賛否および項目選定委員への希望の有無を諮った。国内評議員16名中9名から回答があり、回答者全員の賛成により、提案の出版計画に則り「項目選定委員会」を立ち上げることとなった。項目選定委員への希望は6名であった。

2. 2016年度日本藻類学会第3回持ち回り評議員会

第3回持ち回り評議員会(2016年6月20日～7月2日)を開催し、次期会長候補者の推薦投票を行った。国内評議員16名中10名から投票があり、得票数5位までの方に対して学会事務局から推薦の可否の確認を行ったところ、了承された方が3名に達しなかった。その結果、今回の選挙では評議員会として候補者の推薦を見送ることとした。

3. 日本藻類学会次期会長及び評議員選挙の結果

次期会長・評議員選挙(任期:2017年1月1日～2018年12月31日)を2016年7月18日から8月6日にかけて実施した。2016年8月8日、東京海洋大学において、福岡将之会員、数野渚会員の立ち会いのもと開票を行った。その結果に基づき、各当選者の承諾を得て、以下の次期会長および評議員が選出された。

[会長選挙]

奥田一雄(当選);本村泰三(次点)

[評議員選挙]

北海道地区(定員1名)

堀口健雄(当選);四ツ倉典滋(次点)

東北地区(定員1名)

仲田崇志(当選);佐藤陽一(次点)

関東地区(定員3名)

宮村新一*(当選);菊地則雄(当選);北山太樹(当選);

河野重行(次点)

東京地区(定員2名)

鈴木秀和(当選);嵩田智(当選);田中次郎(次点)

中部地区(定員2名)

倉島彰*(当選);坂西芳彦*(当選);吉川伸哉(次点)

近畿地区(定員2名)

本多大輔(当選);宮下英明*(当選);大塚泰介(次点)

中国・四国地区(定員2名)

吉田吾郎(当選);村瀬昇(当選);関田諭子(次点)

九州地区(定員2名)

寺田竜太*(当選);川口栄男*(当選);グレゴリー・N・ニシハラ(次点)

日本以外の地区(定員2名)

Boo, Sung-Min*(当選);Zuccarello, Giuseppe C.*(当選);ANG, Put Jr.(次点)

(敬称略,*は連続2期目を示す)

4. 和文誌「藻類」バックナンバーの学会HPへの掲載状況

2016年7月14日現在、62巻2号までのPDF fileを閲覧・ダウンロードできる状況。

5. 学会HPによる情報配信と記載内容の更新

2016年6月～10月に掲載・更新した内容は、学会資料集(歴代役員、編集委員)、日本藻類学会第42回大会(仙台・2018)の大会会長・実行委員、日本藻類学会特別賞および学術賞(2017年授与)の募集案内、科研費・新学術領域研究(研究領域提案型)の公募案内、関東学院大学理工学部理工学科生命学系教員公募案内、日本藻類学会編「海藻の疑問50 みんなが知りたいシリーズ1」の出版案内、「日本海藻協会2016秋季シンポジウム」のお知らせ。

会員異動

新入会

氏名

所属機関